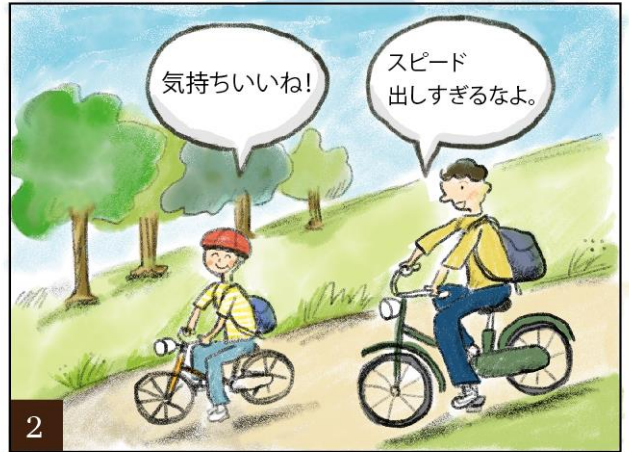


子どもの思いと親の思い



保護者の声

- コロナ禍でなかなか外に出かけられなかったため、自転車で近所を走っていたのですが、息子にとっては楽しい出来事であったと知り、喜びを感じました。
- 洋服のボタンがとめられないので手伝おうとしたら、娘は「自分でできる」の一点張り。そのうち、「やって〜」と言うようになっていきましたが、時間をかけながらもできていました。成長しているなと思い、うれしくなりました。

Point!

「今日の夕飯、おいしそうに食べてくれたな」という喜びから、「明日は何を作ってあげようかな」という思いをめぐらせたことはありませんか。

あまりに日常的なことで気付かないけれど、実は私たちはこうして子育てを楽しんでいるのです。

(子育てアドバイスブック「クローバー」P23)



【問合せ先】
茨城県教育庁総務企画部生涯学習課
就学前教育・家庭教育推進室
TEL 029-301-5132